

図書委員会の活動

6月13日、前期第2回図書委員会を開催しました。
活動方針『みんなが本を好きになれる図書館』のための具体的な取り組み案を検討しました。沢山の意見がでましたが、、以下に決定しました。
お楽しみに！



図書館だより

宗岡第二中学校 学校図書館 平成30年度 No.3

- 1年 図書館に置く学習マンガを選んで紹介する。
- 2年 アンケートで読みたい本を調査し、上位10冊を図書館に置く。
(学校図書館にふさわしいもの)
- 3年 放送で本を紹介する。または、ポイント制でブックカバープレゼント

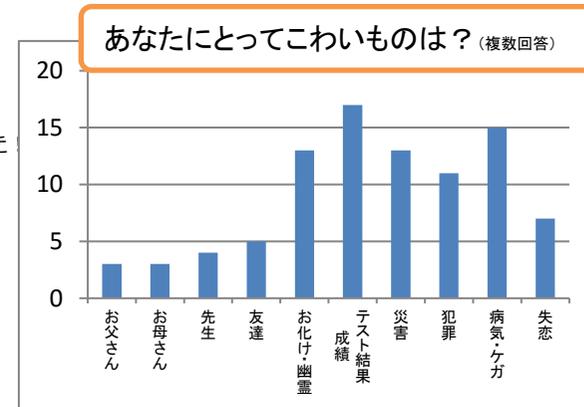
今月のテーマ こわいからひろがる世界

先日の1年生の図書アンケートでの一番人気は「ホラー」。そこで今月は「こわい本」特集です。図書館に来た32人の皆さんに聞きました。「あなたにとってこわいものは？」

第一位は、「テスト結果・成績」！。(下記グラフ) その他、「まんじゅう」「夜のトイレ」「未来」「大切なものを失うこと」などなど、幅広い回答を寄せてくれました。

こわいと思いつつ、のぞいてみたくなるのが人の心の不思議。本の中には怖れに備えるヒントがあるかも知れませんよ。

答えてくれた皆さん、
ご協力ありがとうございました



図書館での授業より、、

「上手」・・・何通りに読めますか？

◆3年国語 大宮先生により「熟語の読み方」の授業が図書館で行われました。

熟語の読み方は、単語をすべて音読みまたは訓読みすることが多いそうです。「上手」を音読みで読めば「ジョウス」、訓読みで読めば「かみて」「うわて」となりますね。

一方、「訓読み+音読み」「音読み+訓読み」の組み合わせもあります。それぞれ「湯桶(ゆとう)読み」「重箱(ジュウばこ)読み」といいます。

授業では、様々な単語の読み方を『漢和辞典』を用いて調べ、発表していました。今まで訓読みと思っていたものが実は音読みだったり、、と、辞書の中にいろいろな発見をした1時間だったようです。

モンダイ

それでは、以下の熟語は「湯桶読み」、「重箱読み」どちらでしょう？ (ヒント・ふりがなに注目！)

- ①夕刊(ゆうカン)
 - ②一羽(イチわ)
 - ③油絵(あぶらえ)
- 正解は、、漢和辞典を見てみましょう！

◆1年国語 西蓮寺先生、実習生小林先生による「ちょっとたちどまって」の授業では『国語事典』を使用し、言葉の意味調べを行いました。

教科書では「だまし絵」を題材に、もの見方について考えています。図書館にある「だまし絵」関連の図書を紹介します。

『錯視美術館』 竹内龍人監修 汐文社
『錯視のひみつにせまる本』



こんな社会は怖い!? 『ギヴァー 記憶を注ぐ者』

ロイス・ローリー著 新評論

少年ジョナスは、家族や友人に恵まれ、安全なコミュニティで幸せに暮らしています。ここでは、12歳を迎えると誰もが将来の職業を通知されます。ジョナスはコミュニティにただ一人の存在「レンジャー」に選ばれました。共に任務にあたるのは、やはりただ一人の存在「ギヴァー」と呼ばれる長老です。彼らの仕事は大変な苦痛を伴うものであり、コミュニティの根幹に関わる重大な秘密に関するものでした、、。

不穏な空気を感じながらぐいぐい引き込まれるうちに、家族、仕事、社会の未来等、多くのテーマが織り込まれていることに気づきます。あなたがジョナスだったら、同じ選択をしますでしょうか？本当に幸福な社会とは、、静かに考えたい物語です。

2015年に
映画も公開
されました

